

大便器・温水洗浄便座清掃マニュアル

A. パブリック 日常清掃
(毎日の清掃)

B. パブリック 定期清掃
(週1回の清掃)

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会 <http://www.j-bma.or.jp/>
一般社団法人 日本レストルーム工業会 <http://www.sanitary-net.com/>

<一般社団法人 日本レストルーム工業会 会員>
アイシン精機株式会社 <http://www.aisin.co.jp/>
アサヒ衛陶株式会社 <http://www.asahieito.co.jp/>
株式会社三栄水栓製作所 <http://www.san-ei-web.co.jp/>
ジャニス工業株式会社 <http://www.janis-kogyo.co.jp/>
東芝ライフスタイル株式会社 <http://www.toshiba.co.jp/tha/>
TOTO 株式会社 <http://www.toto.co.jp/>
株式会社ハウステック <http://www.housetec.co.jp/>
パナソニック株式会社 <http://sumai.panasonic.jp/>
株式会社 LIXIL <http://www.lixil.co.jp/>

制作 / 公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会
一般社団法人 日本レストルーム工業会

平成29年4月版
本マニュアルの
無断転載を禁じます。

目次

- 1 はじめに P.1
- 2 清掃方針 P.1
- 3 清掃用具一覧 P.1
- 4 清掃手順一覧 P.2
- 5 大便器・温水洗浄便座の日常清掃 (A. パブリック 日常清掃) P.3 ~ P.4
- 6 大便器・温水洗浄便座の定期清掃 (B. パブリック 定期清掃) P.5 ~ P.6
- 7 [参考] ノズル出し・戻し方法および温水洗浄便座の着脱方法の例 P.7 ~ P.8
- 8 [参考] 主な部位の名称 P.9

1 はじめに

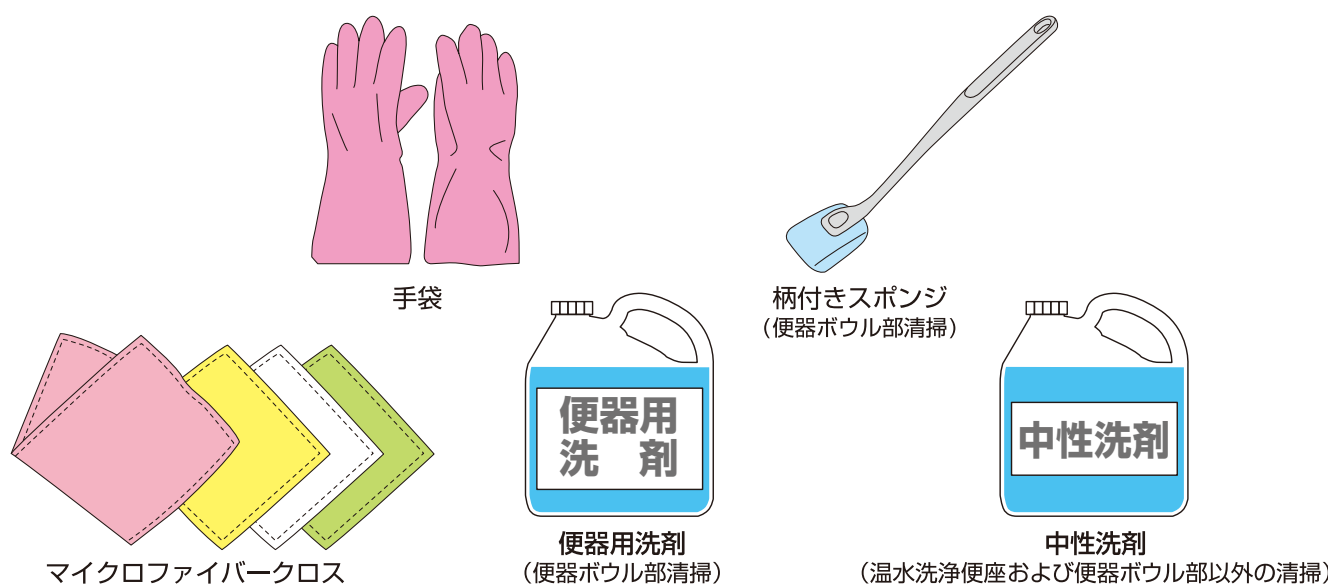
公共建築物のトイレに温水洗浄便座を装備した便器が増えてきたことに伴い、公益社団法人全国ビルメンテナンス協会および一般社団法人日本レストルーム工業会では、ビルメンテナンス従業員向けに大便器・温水洗浄便座清掃マニュアルを平成25年3月に制作し、普及促進してきました。このたび、当マニュアルを改定しました。日々の清掃作業にご活用ください。

2 清掃方針

本マニュアルは、温水洗浄便座に悪影響をおよぼさないことを前提とした、清掃方法(消毒を除く)を説明しています。日常清掃は毎日行い、定期清掃は1週間に1回を目安に行ってください。なお、温水洗浄便座のメーカーは複数あり、機種により清掃のための洗浄ノズルの出し・戻し方法や温水洗浄便座の脱着方法が異なります。清掃にあたっては、必ず当該機種の取扱説明書をご確認のうえ操作ください。

取扱説明書はメーカーホームページのほか、以下のサイトからもご覧いただけます。
<http://www.sanitary-net.com/clean/manual.html>

3 清掃用具一覧



4 清掃手順一覧

手順 No	清掃手順	清掃の仕方	清掃用具			P.3~P.6のイラスト番号	
			手袋	洗剤拭き	水拭き	A. 日常清掃	B. 定期清掃
1	手袋を装着する	色分けされた手袋(肘までの長さのものが好ましい)を装着する。	着用			②	②
2	電源プラグをコンセントから抜く	*手袋が濡れている場合は、事前に必ず拭く。 運転ランプの点灯を確認し、電源プラグを抜く。	着用			—	③
3	温水洗浄便座を便器から取り外す	温水洗浄便座を、所定の操作方法で便器から取り外す。	着用			—	④
4	便器上面(便座接続部)、便座本体底面を清拭する(洗剤拭き)	便器上面の便器接続部を適度な濃度で水で希釈された中性洗剤を含ませかたく絞った「洗剤拭き用マイクロファイバークロス(赤)」で清拭する。 便座本体を立て、便座本体底面を清拭する。	着用	洗剤拭き用マイクロファイバークロス		—	⑤
5	洗剤拭き箇所を仕上げ水拭きする	洗剤拭きした箇所をかたく絞った「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で水拭きして仕上げる。(洗剤の残留成分を除去)	着用		洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス	—	⑥
6	脱臭フィルターを清拭する(水拭き)	脱臭フィルターを取り出し、「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で拭き上げる。	着用		洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス	—	⑦
7	温水洗浄便座を便器に取り付ける	*装着不備は破損や転倒事故につながるため念入りに行なう。 温水洗浄便座を所定の操作方法で、もとに戻す。	着用			—	⑧
8	電源プラグをコンセントに差し込む	*手袋が濡れている場合は、事前に必ず拭く。 電源プラグを差し込み、運転ランプの点灯を確認する。	着用			—	⑨
9	便器の水を流す	便器の水を流す。便器の水を流す。便器の水を流す。(1回目)	着用または非着用(素手)			③	⑩
10	ノズルを清拭する	*リモコン操作は水拭き用マイクロファイバークロス(白)を添える。 ノズルを出し、ノズルに手を添えて「ノズル水拭き用マイクロファイバークロス(緑)」でノズル全体を清拭する。その後、ノズルを戻す。	着用		ノズル水拭き用マイクロファイバークロス	④	⑪
11	便器ポウルを洗浄する	便器ポウル(便鉢)内で、柄付きスポンジのスポンジ部分に洗剤を含ませて、スポンジ部分全体に洗剤がいきわたるようにしてから、ポウル内全体を均一に洗浄する。「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添えて便器洗浄操作を行ない、水を流しながら、柄付きスポンジで汚れと洗剤分を洗い流す。(2回目)	着用	柄付きスポンジ		⑤	⑫
12	便座裏面、便座本体ケース下部、便器リム部、便器側面を清拭する(洗剤拭き)	上げた便座の裏面、便座本体ケース下部、便器リム部、便器側面を適度な濃度で水で希釈された中性洗剤を含ませかたく絞った「洗剤拭き用マイクロファイバークロス(赤)」で清拭する。	着用	洗剤拭き用マイクロファイバークロス		⑥	⑬
13	洗剤拭き箇所を仕上げ水拭きする	洗剤拭きした箇所をかたく絞った「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で水拭きして仕上げる。(洗剤の残留成分を除去)	着用		洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス	⑦	⑭
14	便座表面、便器上面(表・裏)、便座本体ケース上部、操作部等を清拭する(水拭き)	手袋交換または非着用(素手)にて以下の順番にかたく絞った「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」で水拭きする。 1.便座表面 2.便器上面(裏・表)、便座本体ケース上部 3.温水洗浄便座の操作部(便器洗浄スイッチ、リモコン含む) 4.タンク上面、側面、前面および便座本体間(タンク式便器の場合)	着用(交換)または非着用(素手)		水拭き用マイクロファイバークロス	⑧	⑮

5 大便器・温水洗浄便座の日常清掃 (A. パブリック 日常清掃)

毎日の清掃

清掃のポイント

- 洗剤拭き用、洗剤拭き後の仕上げ水拭き用、水拭き用、ノズル水拭き用に色分けされた4枚のマイクロファイバークロスを使い分けて清掃する。
- 洗剤拭き、水拭き等各々その作業においては原則として「きれいな箇所」から「汚れた箇所」へと一方方向拭きで清掃する。
- マイクロファイバークロスの拭き取り面が汚れたら、拭き取り箇所が変わるタイミングで新たな面に替えて作業する。



注意事項

- 製品毎に清掃時における注意事項が異なるので、清掃対象製品の取扱説明書を事前に必ず確認すること。ただし、清掃方法については本マニュアルに準じて実施すること。(取扱説明書はメーカーホームページのほか、日本レストルーム工業会「トイレナビ」からもご覧いただけます)
- 清掃作業前、作業後、血液等を触った場合には必ず石鹸と流水で手を洗う。
- 各製品の取扱説明書に従い必要に応じて電源プラグを抜いて清掃を行う。

清掃手順

1

○ 色分けされた4種類のマイクロファイバークロスを準備する。
 赤：洗剤拭き用 黄：洗剤拭き後の仕上げ水拭き用
 白：水拭き用 緑：ノズル水拭き用

2

○ 色分けされた手袋(肘までの長さのものが好ましい)を装着する。

3

○ 便ふた・便座を上げ、「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添えて便器洗浄操作を行ない、水を流す。(1回目)

4

* リモコン操作は「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添える。
 ○ ノズルを出し、ノズルに手を添えて「ノズル水拭き用マイクロファイバークロス(緑)」でノズル全体を清拭する。その後、ノズルを戻す。
 * 製品毎のノズルの出し・戻し方法は事前に取扱説明書等で確認する。

5

○ 便器ボウル(便鉢)内で、柄付きスポンジのスポンジ部分に洗剤を含ませて、スポンジ部分全体に洗剤がいきわたるようにしてから、ボウル内全体を均一に洗浄する。
 * 封水部分にもスポンジを押し込んで洗浄する。
 「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添えて便器洗浄操作を行ない、水を流しながら、柄付きスポンジで汚れと洗剤分を洗い流す。(2回目)

6

○ 上げた便座の裏面、便座本体ケース下部、便器リム部、便器側面を適度な濃度に水で希釈された中性洗剤を含ませかたく絞った「洗剤拭き用マイクロファイバークロス(赤)」で清拭する。

7

○ 洗剤拭きした箇所をかたく絞った「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で水拭きして仕上げる。(洗剤の残留成分を除去)

8

○ 手袋交換または非着用(素手)にて以下の順番にかたく絞った「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」で水拭きする。
 1. 便座表面
 2. 便ふた(裏、表)、便座本体ケース上部
 3. 温水洗浄便座の操作部(便器洗浄スイッチ、リモコン含む)
 4. タンク上面、側面、前面および「便座本体間」(タンク式便器の場合)
 * 運転ランプの点灯を確認する。その他、異常がないか確認する。

<その他の注意事項>

■ 安全にお使いいただくために

- ・ 製品に異常があるときには、すぐに使用を中止し製造メーカー・施工会社等にご連絡ください。
- ・ 温水洗浄便座や便器を傷める酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
- ・ 個別の製品により清掃時に必要な実施項目(点検項目含む)がある場合は個別の製品の取扱説明書等に従ってください。
- ・ 個別の製品により清掃時における注意事項がある場合は個別の製品の取扱説明書等に従ってください。

■ より長くお使いいただくために

- ・ 金属ブラシ、研磨剤入りナイロントワシ等を使用しないでください。
- ・ 樹脂表面は特に傷つきやすいため、乾いた布やゴミを含んだ布やタオル、トイレトペーパーは使用しないでください。
- * 必ず指定用具のマイクロファイバークロスを使用する。

6 大便器・温水洗浄便座の定期清掃 (B. パブリック 定期清掃)

週1回の清掃 <A. パブリック 日常清掃と異なる箇所を緑字としています。>

清掃のポイント

- 洗剤拭き用、洗剤拭き後の仕上げ水拭き用、水拭き用、ノズル水拭き用に色分けされた4枚のマイクロファイバークロスを使い分けて清掃する。
- 洗剤拭き、水拭き等々その作業においては原則として「きれいな箇所」から「汚れた箇所」へと一方向拭きで清掃する。
- マイクロファイバークロスの拭き取り面が汚れたら、拭き取り箇所が変わるタイミングで新たな面に替えて作業する。

注意事項

- 製品毎に清掃時における注意事項が異なるので、清掃対象製品の取扱説明書を事前に必ず確認すること。ただし、清掃方法については本マニュアルに準じて実施すること。(取扱説明書はメーカーホームページのほか、日本レストルーム工業会「トイレナビ」からもご覧いただけます)
- 清掃作業前、作業後、血液等を触った場合には必ず石鹸と流水で手を洗う。
- 各製品の取扱説明書に従い必要に応じて電源プラグを抜いて清掃を行う。

清掃手順

1

○色分けされた4種類のマイクロファイバークロスを準備する。
赤：洗剤拭き用 黄：洗剤拭き後の仕上げ水拭き用
白：水拭き用 緑：ノズル水拭き用

2

○色分けされた手袋(肘までの長さのものが好ましい)を装着する。

3

*手袋が濡れている場合は、事前に必ず拭く。
○運転ランプの点灯を確認し電源プラグを抜く。

4

○温水洗浄便座を、所定の操作方法で便器から取り外す。(便器から取り外しのできない機種は④⑤⑥⑧は省略)
*製品毎の操作方は事前に温水洗浄便座の取扱説明書等で確認する。

5

*便座本体底面の汚れがひどい場合は、清掃後に必ず新たな面に交換する。
○便器上面の便座接続部を適度な濃度に水で希釈された中性洗剤を含ませかたく絞った「洗剤拭き用マイクロファイバークロス(赤)」で清掃する。便座本体を立て、便座本体底面を清掃する。

6

○洗剤拭きした箇所をかたく絞った「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で水拭きして仕上げる。(洗剤の残留成分を除去)

7

○脱臭フィルターを取り出し、「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で拭き上げる。

8

○温水洗浄便座を所定の操作方法で、もとに戻す。
*製品毎の操作方は事前に温水洗浄便座の取扱説明書等で確認する。
*装着不備は破損や転倒事故につながるため念入りに行う。

9

*手袋が濡れている場合は、事前に必ず拭く。
○電源プラグを差込み、運転ランプの点灯を確認する。

10

○便ふた・便座を上げ、「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添えて便器洗浄操作を行ない、水を流す。(1回目)

11

*リモコン操作は「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添える。
○ノズルを出し、ノズルに手を添えて「ノズル水拭き用マイクロファイバークロス(緑)」でノズル全体を清拭する。その後、ノズルを戻す。
*製品毎のノズルの出し・戻し方法は事前に取扱説明書等で確認する。

12

○便器ボウル(便鉢)内で、柄付きスポンジのスポンジ部分に洗剤を含ませて、スポンジ部分全体に洗剤がいきわたるようにしてから、ボウル内全体を均一に洗浄する。
*封水部分にもスポンジを押し込んで洗浄する。
「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」を添えて便器洗浄操作を行ない、水を流しながら、柄付きスポンジで汚れと洗剤分を洗い流す。(2回目)

13

○上げた便座の裏面、便座本体ケース下部、便器リム部、便器側面を適度な濃度に水で希釈された中性洗剤を含ませかたく絞った「洗剤拭き用マイクロファイバークロス(赤)」で清拭する。

14

○洗剤拭きした箇所をかたく絞った「洗剤拭き後の仕上げ水拭き用マイクロファイバークロス(黄)」で水拭きして仕上げる。(洗剤の残留成分を除去)

15

○手袋交換または非着用(素手)にて以下の順番にかたく絞った「水拭き用マイクロファイバークロス(白)」で水拭きする。
1. 便座表面
2. 便ふた(裏、表)、便座本体ケース上部
3. 温水洗浄便座の操作部(便器洗浄スイッチ、リモコン含む)
4. タンク上面、側面、前面(タンク式便器の場合)
*運転ランプの点灯を確認する。その他、異常がないか確認する。

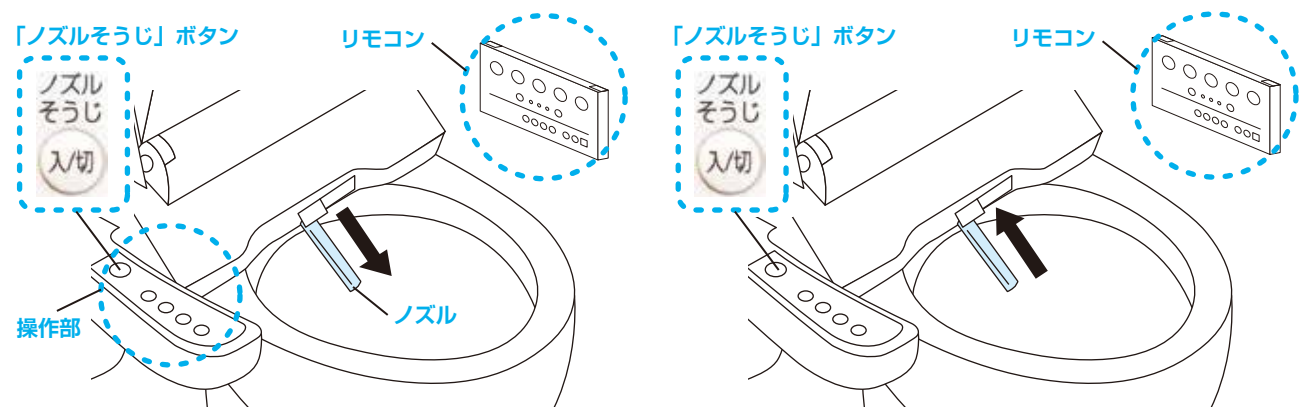
<その他の注意事項>

- 安全にお使いいただくために
 - ・製品に異常があるときには、すぐに使用を中止し製造メーカー・施工会社等にご連絡ください。
 - ・温水洗浄便座や便器を傷める酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤を含む洗剤は使用しないでください。
 - ・個別の製品により清掃時に必要な実施項目(点検項目含む)がある場合は個別の製品の取扱説明書等に従ってください。
 - ・個別の製品により清掃時における注意事項がある場合は個別の製品の取扱説明書等に従ってください。
 - より長くお使いいただくために
 - ・金属ブラシ、研磨剤入りナイロンタワシ等を使用しないでください。
 - ・樹脂表面は特に傷つきやすいため、乾いた布やゴミを含んだ布やタオル、トイレットペーパーは使用しないでください。
- *必ず指定用具のマイクロファイバークロスを使用する。

7 【参考】ノズルの出し・戻し方法および温水洗浄便座の着脱方法の例

詳細は対象となる温水洗浄便座の取扱説明書等を確認してください。
 (取扱説明書はメーカーホームページのほか、日本レストルーム工業会「トイレナビ」からもご覧いただけます。)

■ノズルの出し・戻し方法<自動方式の機種の場合>



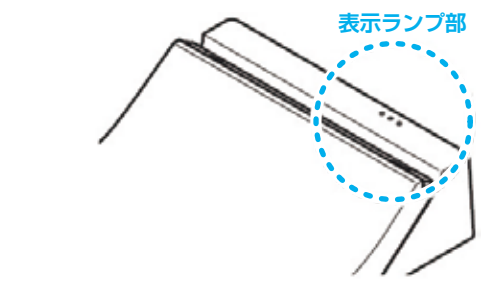
- ノズルを出す
 操作部あるいはリモコンにある「ノズルそうじ」、「ノズル洗浄」などのボタンを押す。
 ノズルが出てきます。
- ノズルを戻す
 操作部あるいはリモコンにある「ノズルそうじ」、「ノズル洗浄」、「■止め」、「■停止」などのボタンを押す。
 ノズルが戻ります。

多機能トイレ等に設置される一部の機種で、「ノズルそうじ」「ノズル洗浄」などのボタンがなく、複数のボタン操作等でノズルを出すものがあります。

TOTO (株) 製 温水洗浄便座 (品番: TCF596RB) の例

* 他の機種では以下の操作は行わないでください。
 設定状態が変わり正しく動作しなくなる場合があります。

- ノズルを出す
 ①リモコンの「止」ボタンを10秒以上押す。
 (温水洗浄便座の表示ランプ部が全て点灯するまで押す)
 「止」ボタンから手を離すと温水洗浄便座の表示ランプ部の点灯が点滅に変わります。

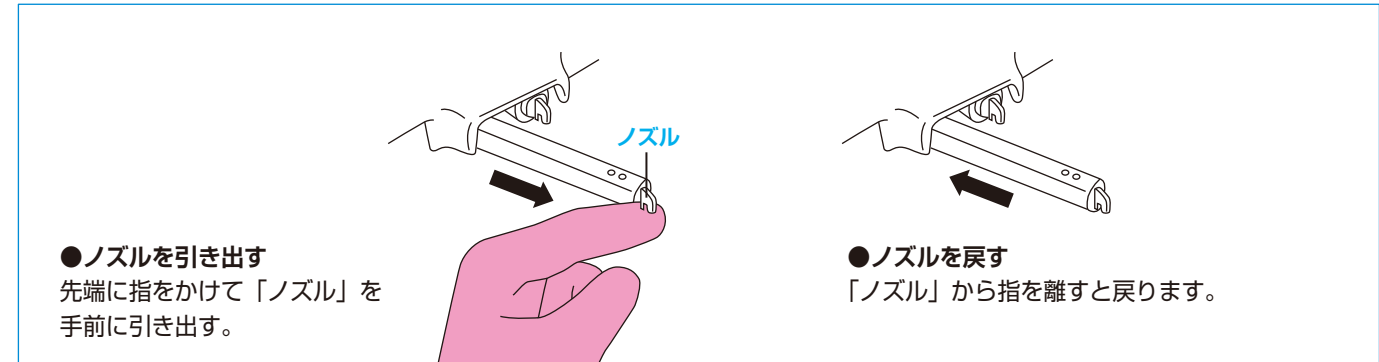


- ②表示ランプ部が点滅となった後に「ビデ」ボタンを3秒以上押す。
 ノズルが出てきます。



- ノズルを戻す
 リモコンの「止」ボタンを押す。
 ノズルが戻ります。

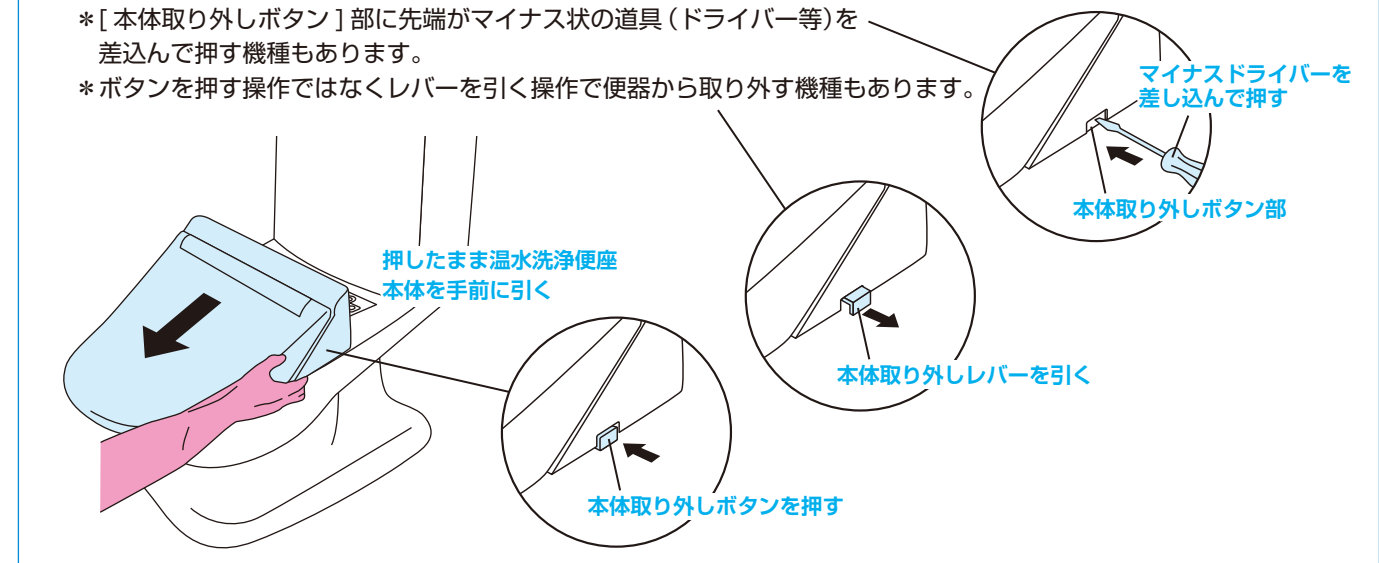
■ノズルの出し・戻し方法<手動方式の機種の場合>



- ノズルを引き出す
 先端に指をかけて「ノズル」を手前に引き出す。
- ノズルを戻す
 「ノズル」から指を離すと戻ります。

■温水洗浄便座の着脱方法<ボタン/レバー操作による着脱方式の機種の場合>

- 温水洗浄便座を便器から取り外す
 温水洗浄便座本体右側の[本体取り外しボタン]を押したまま、温水洗浄便座本体を手前に引いてください。
 * 給水ホース・電源コードがありますので、無理に引っ張らないでください。
 * [本体取り外しボタン]部に先端がマイナス状の道具(ドライバー等)を差込んで押す機種もあります。
 * ボタンを押す操作ではなくレバーを引く操作で便器から取り外す機種もあります。



- 温水洗浄便座を便器に取付ける
 ①温水洗浄便座本体の中心とベースプレートの中心を合わせる。
 ②便器面に温水洗浄便座本体をすべらせて「カチッ」と音がするまで、確実に押し込む。

